# 除雪作業のため延べ８５名を派遣

**消防団概要**

都道府県名　新潟県
消防団名　見附市消防団
実員数　５８２名（うち女性団員１４名）
消防団事務局　見附市消防本部　総務課
TEL　０２５８－６２－０５５５

**活動内容**

写真提供　見附市消防団

## １　概要

見附市消防団では、平成１８年１月１２日、１５日の両日、要援護者宅の除雪作業のため津南市と上越市に向け、延べ８５名を派遣した。

## ２　活動内容

これは、県からの出動要請によるもので、除雪の応援要請は今回が初めてであった。

両地域とも日本有数の豪雪地帯で、今年は積雪記録に迫る３９６センチが例年より１ヶ月早く一気に降り積もった。

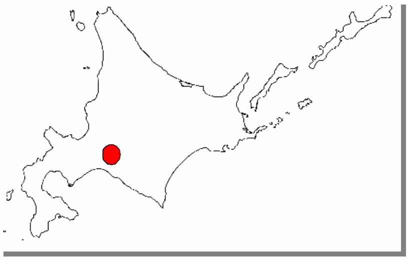
日頃から屋根の雪下ろしには慣れている団員も背丈を優に超える雪壁の高さに圧倒されるほどの雪量であった。しかし、そこは持ち前の技術力と機動力を遺憾なく発揮して順調に除雪作業をこなし、作業は無事終了した。

**特記事項**

## ３　除雪応援作業を終えて

平成１６年７月１３日の水害の折には、県内の消防団をはじめとして大勢のボランティアの支援をいただき、感謝の念を持っていた。今回、除雪作業の手伝いが出来たことは恩返しの観点から有意義であり、出動した団員一人ひとりに満足の表情があった。

# 救命講習の繰り返しで成果



| 消防団概要 | | |
|---|---|---|
| | 都道府県名 | 北海道 |
| | 消防団名 | 厚真町消防団（あつま） |
| | 実員数 | ９０名（うち女性団員１０名） |
| | 消防団事務局 | 胆振東部消防組合消防署<br>厚真支署　TEL　０１４５－２６－７１１９ |

**活動内容**

## １　普通救命講習の実施

平成１３年に厚真消防団の全団員が普通救命講習を受講し、修了証の交付を受けている。

その後は、毎年再講習を行っており、繰り返し訓練をすることで、団員は、それぞれ高い技術と知識を有しており、災害時の活動が期待されている。

**特記事項**

## ２　普通救命講習の効果

平成１７年２月に、温泉で泡を吹いて倒れている人に遭遇した団員が、的確な人工呼吸と心臓マッサージを行った結果、一命を取り留めた事案があった。

これは、平成１３年に普通救命講習を受けて以来、毎年繰り返し講習を行っている成果が現れた事案であった。

自由席

苫小牧・胆振

消防団の経験が命救う

厚真町消防団の蔵重豊一副団長(六七)は先日、プライベートで訪れた登別市内の温泉で、意識を失った男性(三八)の人命を救った。「普段から救助の訓練しているのですぐに対応や指示ができた。助かってほしいという一心だった」と振り返る。

一月十六日午前七時半すぎ、温泉の湯船近くで十人ぐらいが騒いでいるのを目にして、すぐに駆け付けた。口から泡を吹いて倒れていた男性を見ると、即座に脈を計り、「救急車を呼んで」と指示。さらに、脈拍と意識がないのを確認すると、人工呼吸と心臓マッサージを施した。

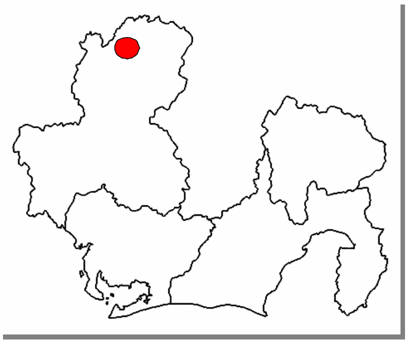
人工呼吸と心臓マッサージを百回ほど十分近く繰り返すと、男性の足が動きだし、息も吹き返した。男性は救急車で病院に運ばれ、一命をとりとめたという。

二日後には、札幌から男性とその家族がお礼に訪れた。「男性と親御さんが喜んでくれて良かった。消防団に入団してから四十四年の経験が役立った。こんなことは初めてだけど、人助けができてうれしい」とほほ笑んだ。〈厚　真〉

北海道新聞夕刊　平成17年2月15日（火）

# 白バイ隊員指導の下、本格的走行訓練

**消防団概要**



都道府県名　岐阜県
消防団名　飛騨市消防団
実員数　８４８名(うち女性団員１３名)
消防団事務局　飛騨市消防本部総務課
℡　０５７７－７３－０１１９

**活動内容**

**１　バイク隊概要**

飛騨市消防団では、魅力ある消防団創りの一環として災害時にオートバイの機動性を生かすなど、若い団員のニーズにあった消防力の強化を図る目的から平成１４年に「ひまわり消火隊」を結成し、隊員１２名で運用を行っている。

**２　主な活動内容**

主な活動は、防火啓蒙のパレード参加や定期的に走行訓練を行い消防団のＰＲ及び大規模災害への備えを行っている。

**３　白バイ隊指導の走行訓練**

年に１回、警察から白バイ隊員を迎えて走行訓練を行っており、プロの指導の下、基礎訓練から本格的な悪路走行訓練を行っている。

この走行訓練は、人の集まる市街地の駐車場で行われ、行き交う人々の熱い視線を浴び、地域への消防団ＰＲとなっている。

**特記事項**

**４　市民へのＰＲ**

消防団事業として行われる年２～３回の防火パレードには、必ず先導隊として参加しており、市民への防火啓蒙効果が高いと考えられる。また、若い団員の関心が高く入隊希望者の声が多い。

**５　今後の活動**

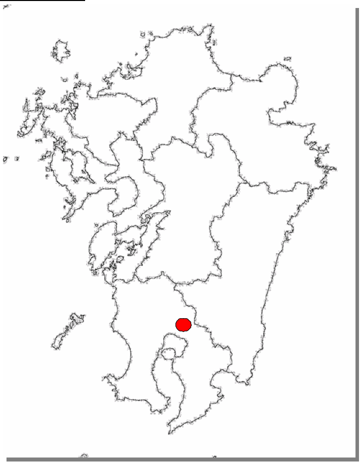
災害時での実践経験が乏しいので、今後は様々な災害を想定した出動マニュアル等を策定し、機動力を活かした災害地情報の把握や伝令に活用したい。

## 飛騨市消防団訓練風景

白バイ隊員から指導を
受ける団員達

写真提供　飛騨市消防団

# 陸・海で活動　行方不明者の捜索



**消防団概要**

都道府県名　鹿児島県
消防団名　霧島市消防団
実員数　１，１４５名（うち女性団員０名）
消防団事務局　霧島市役所隼人総合支所総務課管理係
0995-42-1111（内線5013）

**活動内容**

**１　消防団に初動対策班「隼援助隊」**

隼援助隊は、行方不明や災害による捜索等を必要とされるとき、迅速に出動し、初動対策にあたることを目的に結成され、消防団員１９名と市職員２１名（うち女性２名）で構成されており、陸捜班と海捜班に分かれている。

**２　装備**

主な装備としては、工作車、赤バイを有しており、工作車は捜索本部としての機能や、夜間の災害の照明、バイクはその機動性を生かした活動をしている。

また、隼援助隊は、鹿児島県水難共済会から湾奥では初となる救難所の指定を受けた。

**３　これまでの実績**

これまで、２２件出動しており、１１人の発見に至っている。これらの活動が認められ、国分警察署長から感謝状を授与された。

同隊は、海上保安部や交通機動隊等と合同訓練を行っており、組織強化を図っている。

**特記事項**

**４　これからの活動**

合併し、様々な問題を抱えているが、現在は隼人町のみの活動範囲となっているこの組織を、将来的には霧島市全域で活動できるようにすることが最大の目標である。

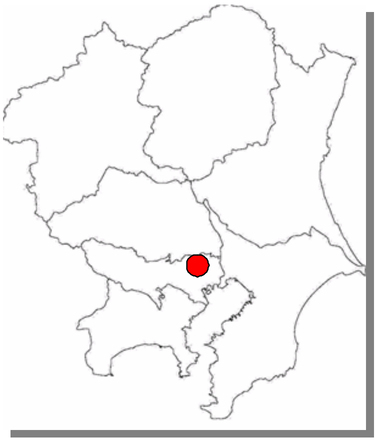
## 隼援助隊活動風景

水難救助を行う隊員

消防職員から結索を
教わる隊員

写真提供　霧島市消防団

# 特殊技能を活かした「救助担当」を結成



**消防団概要**

都道府県名　東京都
消防団名　千住消防団
実員数　３６３名（うち女性団員４２名）
消防団事務局　千住消防署　防災係
℡０３－３８８２－０１１９

**活動内容**

**１　消防隊応援班「救助担当」を結成**

千住消防団では、千住消防団消防隊応援班「救助担当」を結成し、１０名編成で平成１８年３月１日から運用を開始した。

**２　「救助担当」の任務**

この部隊は、震災等による大規模災害時など、要救助者が多数発生する災害時に、活動することを目的に結成された。

活動にあたっては、消防署の特設小隊と消防団の「救助担当」が連携して連携して救助活動を行う。

**３　メンバー構成**

「救助担当」に所属している消防団員は、建設関係従事者や重機操作の有資格者等、大規模災害時に活用できる技能を有している者の中から、志願者を募り構成している。

**特記事項**

**４　活動**

まだ結成して日が浅いため、実際の活動は行っていないが、訓練については、消防職員の指導の下、毎月１回訓練を実施し、知識・技能の向上に努めている。

**５　アマチュア無線部会による情報収集班も活躍**

千住消防団には、団員によるアマチュア無線部会もあり、資格者が５６名おり、震災・水害時等の情報収集体制を確立し、機会あるごとに訓練を重ねている。

## 千住消防団救助担当

← 千住消防団救助担当

資機材について消防職員から
説明を受ける消防団員 →

写真提供 千住消防団

# カーナビゲーションで確実な水利確保

## 消防団概要

都道府県名　大阪府
消防団名　八尾市消防団
実員数　２５０名（うち女性団員０名）
消防団事務局　八尾市消防本部警防課　消防団係
℡　０７２－９９２－２５４６

## 活動内容

**１　複雑化する市街地に対応するため、カーナビを搭載**

八尾市消防団山本分団上尾分隊では、火災発生現場、災害発生現場等への早期到着、いち早い水利確保をするため、消防自動車にカーナビゲーションシステムを搭載している。

**２　団員自らが消火栓所在地をマーキング**

このナビゲーションシステムは、管轄地区内の全消火栓所在地がマーキングされており、消防本部からの現場指示図（ＦＡＸ受信）との併用で速やかに現場直近消火栓に到着することが可能となった。

なお、ナビゲーションシステムの搭載・消火栓の登録は消防団員自ら行った。

写真提供　八尾市消防団

## 特記事項

写真提供　八尾市消防団

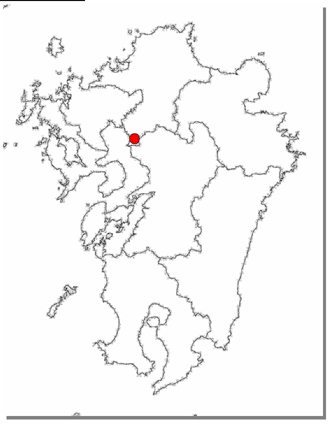
**３　実地調査をして丹念に登録**

消火栓位置の登録は、作戦図面等の紙面からの転載ではなく、団員が消防自動車で実走し目視のうえ行った。

**４　効果**

現場到着が円滑になったこと、各団員が消火栓所在地の再確認ができ、近隣地理により習熟することができたという副次的効果も生まれた

# メールを活用し、行方不明者捜索



**消防団概要**

都道府県名　福岡県
消 防 団 名　大牟田市消防団
実　 員 　数　６５９名（うち女性団員１７名）
消防団事務局　大牟田市消防本部　総務課消防団係
　　　　　　　TEL　０９４４－５３－３５２１

**活動内容**

１　行方不明者捜索

近年、認知症の人の徘徊が数多く見受けられるようになり、平成１６年度には１０名を超える捜索が実施されたが、残念ながら発見が遅れたために３名の方が亡くなられた。

２　地域ぐるみで安心・安全を

この事態を受け、当消防団管轄区域では、住民、警察、消防の３者が連携し、行方不明者捜索保護活動のため、徘徊者を想定した模擬訓練を実施した。

まず、「自宅から認知症の人がいなくなった」との想定のもと、捜索活動を開始し、当事者の保護までの流れを体験した。

３　メールを活用した捜索活動

今回からは、新たに共通の情報提供シートを活用し、情報の統一化を図るとともに、消防本部が取り組んでいる「地域安心安全情報共有システム」を活用し、「不明者情報」メールを活用しながら捜索を実施した。

**特記事項**

４　効　果

初動体制が確保でき、行方不明者の早期発見につながっている。

# 消防団員が一人暮らし高齢者宅の家具転倒防止器具取り付け

**消防団概要**

都道府県名　東京都
消防団名　八王子市消防団
実員数　１５０９名（うち女性団員４９名）
消防団事務局　八王子市生活安全部防災課
℡　０４２６－２０－７２０８
URL　http://www.city.hachioji.tokyo.jp/seikatsuanzen/bosai/dan/toppage.htm

**活動内容**

**１　消防団員が高齢者宅の家具転倒防止金具取り付け**

八王子市では、震災対策事業の一環として７０歳以上で一人暮らしの方を対象に、家具転倒防止金具の無料配布を実施したが、自分で取り付けできない方は、希望により消防団員が取り付けを行った。

**２　実施方法**

平成１７年４月１日現在で７０歳以上の一人暮らしの方５４３８人に対して地域の民生委員が金具の無料配布及び取り付け希望調査を行ったところ、１２３２人の方が取り付けを希望した。

消防団では、分団単位で地域割りをし、建設関係の団員が中心となり、一件毎に連絡を取りながら金具の取り付けを行った。

**特記事項**

**３　地域との結びつき**

地域に根ざした消防団として、活動服を着用して作業を行ったことで、対象の方々に安心感と信頼感が生まれた。また、地域との結びつきもさらに強くなると同時に消防団活動に対する関心も深まった。

このことから、平成１８年度も事業を継続することとなった。

広報
# はちおうじ

■ホームページアドレス http://www.city.hachioji.tokyo.jp/
モバイル（携帯電話）版 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/m/
■八王子市役所の代表電話
☎0426-26-3111

No.1094
9.1
2005
（平成17年）

9月1日

## 防災の日は年1回の点検の日

いつ起こるか分からない地震、そしてシーズンを迎えた台風。こうした災害から、私たちが生命と財産を守るには、日ごろの備えと安全点検で決まるといっても過言ではありません。

毎日の生活の中で安全はあたりまえと思っているあなた。〝その時〟は、いつやって来るか分かりません。9月1日は「防災の日」。この日を災害に備えて「再点検する日」として、防災用品の準備や家の内外の安全点検、避難場所の確認などを家族で話し合い、必ず実行するようにして欲しいものです。今号では、防災チェックのポイントを図解で紹介します。

もくじ（主な内容）

▶1～3…特集:9月1日は防災の日
▶4・5…健康づくり推進協議会の市民委員を募集など
▶6・7…生け垣づくりに補助金を支給など
▶8・9…敬老の日の催しなど
▶10・11…けんこう

## 必ず実行〝その時〟の備えと点検

10年前の阪神淡路大震災ではタンスや家具の転倒で多くのケガ人が出ました。家具転倒防止金具を取り付けるなど、ちょっとした対策があなたの身を守ります。そこで市は、4月1日現在70歳以上で一人暮らしの方を対象に転倒防止金具を無料で配付。希望者には消防団員が取り付けも行っています。該当する方で連絡がまだない場合は民生委員または防災課（☎20・7207、FAX21・1298）までお申し出ください。

市長メッセージ

## 夢－はちおうじ

「自分たちのまちは、自分たちで守る」。これは『育てよう地域の防災力』をテーマに、直接市民の皆さんと意見を交換した今年のタウンミーティングでの各地に共通した活動報告の言葉でした。

災害に備え、地域の皆さんが一丸となって取り組み、安全を確保していく――私は、地域の持つ底力『地域力』に強い感銘を受けました。しかし、『天災は忘れたころに…』の言葉のとおり、防災意識を持ち続けることは難しいもの。最近多発する地震で〝ドキッ〟とさせられるのが現実です。

それでは、防災意識はどうすれば身に付くのでしょう。北野地区のある自治会では、「成人になっても防災意識を持ち続けることができるよう、子どものころから訓練に参加させている」とのことでした。誰もが参加できる体制を整える――防災に関心を持ち続けるためのヒントを得た思いです。それは、日ごろからの訓練や自主防災活動を地域ぐるみで着実に積み重ねていくことに尽きるのではないでしょうか。

『地域力』は『防災力』そのものと私は考えています。地域に生きる私たち一人ひとりが協力し合って『地域力』を高めていく、それが達成できた時に共助の精神に培われた確固たる安全なまちが見えてくるはずです。（市長　黒須　隆一）

広報はちおうじ（平成１７年９月号）

提供　八王子市

# 消防団員が企画・立案した防火教室

| 消防団概要 | | |
|---|---|---|
| | 都道府県名 | 千葉県 |
| | 消防団名 | 船橋市消防団 |
| | 実員数 | ６６４名（うち女性団員１４名） |
| | 消防団事務局 | 船橋市消防局　警防課消防団担当<br>TEL　０４７－４３５－８６２８ |

**活動内容**

１　子供達への防災教育
　船橋市消防団では、平成１５年度から、消防団の活性化及び小学生の防火・防災意識の啓発を図ることを目的に、消防団員による防火教室を開催している。

２　消防団員が学校長と協議し運営
　実施方法としては、小学校３年生の社会科授業の「暮らしを守る」という授業の中で先生に代わり、消防団員が講師となり実施するもので、内容は消防団員が企画立案し、学校長と協議のうえ決定している。

**特記事項**

３　児童の反応
　防火教室に参加した生徒にとっては、放水体験や団員の防火講話など、日頃目にしたことのない消防資機材等に直接触れることで、火の大切さや消防の仕組みが理解でき、火災予防思想の啓発が図られ、非常に有益な授業となっている。

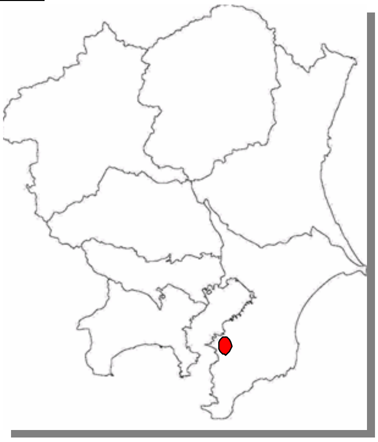
４　今後の活動
　今後も年間を通じ、社会教育の一環として、小学生に対する防火教室を積極的に推進していきたいと考えている。

## 船橋市消防団による防火教室

小学生に消火器の使用方法を教える消防団員

写真提供　船橋市消防団

# 「消防ふれあいスクール」



**消防団概要**

都道府県名　千葉県
消防団名　木更津市消防団
実員数　６１６名（うち女性団員０名）
消防団事務局　木更津市消防本部　消防総務課
℡　０４３８－２３－９１８２

**活動内容**

## １　分団主催による防災教室

地域住民の防災意識の向上のため、地元小学校の校庭を使用し、初期消火訓練、消防自動車の展示、子供を対象とした放水体験などを行っている。

消防ふれあいスクール風景

写真提供　木津市消防団

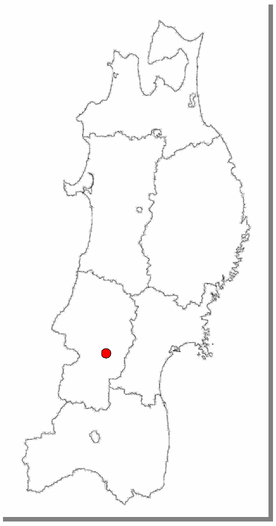
**特記事項**

## ２　未来の消防団員を勧誘

小学校にて休日に開催するため、児童と親が行事に参加できることから、より地元消防団についての理解を広め、今後の消防団員勧誘に期待できる。

１８年度については、起震車を県より借用し体験してもらう予定である。

# 消防団車庫に小学生が防火ＰＲ



**消防団概要**

都道府県名　山形県
消防団名　白鷹町消防団
実員数　６４７名（うち女性団員２名）
消防団事務局　山形県白鷹町消防団事務局
TEL　０２３８－８５－５２４２
URL　http://www.omuta119.com/dan/omuta119.com_dan.htm

**活動内容**

### １　地域の子供達が防火ＰＲ

　白鷹町消防団（第４分団）では、平成１４年から、地元小学校の協力を得ながら、放課後や土曜日、日曜日を利用しポンプ車の車庫シャッターに防火ＰＲの絵を描いている。

### ２　現在までの経過

　この事業は、毎年１～２カ所を実施し、現在までに７カ所を終えている。

### ３　消防団と子供達の触れあい

　第４分団は消防と子供達とのふれあいを大切に考え、分団の演習でも、小学生の参加を得て、消火訓練、規律訓練、濃煙体験訓練を実施し、子供達の防火思想の高揚に努めている。

**地域の子供達の手による防火ＰＲ→**

写真提供　白鷹町消防団

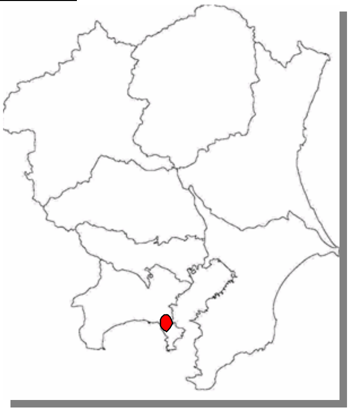
**特記事項**

### ４　効果

　絵を描く子供達だけではなく、地域の多くの方々の目に触れることから、防火ＰＲの一環として、幅広い年齢層に啓発することができる。

# 消防団音楽隊でイメージアップ

**消防団概要**



都道府県名　神奈川県
消 防 団 名　横須賀市消防団
実　員　数　９１０名（うち女性団員４２名）
消防団事務局　横須賀市消防局　総務課消防団担当
　　　　　　　℡　０４６－８２１－６４５９
URL　http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/syoubou

**活動内容**

１　発足の経緯

　横須賀市消防団音楽隊は、消防団活性化の一方策として、女性消防団員を採用し、消防団の存在を広く市民に理解してもらい、消防団による広報を充実させるために平成３年５月に発足した。

２　活動内容

　主に、消防の諸行事や横須賀市主催の行事に出場している。

日米親善さくら祭りパレード
（横須賀米軍基地内）

写真提供　横須賀市消防団

防災フェスタコンサート
（市役所前公園）

活動事例

3　新たな活動

平成１４年度から、消防職員のフラッグ隊とのドリル合同チーム「ヨコスカ・ファイアー・ドリームズ」を結成し、市内のパレードや消防出初式でのグランドドリルチームとしても活躍している。

平成１８年出初式　グランドドリル
（横須賀アリーナ）

写真提供　横須賀市消防団

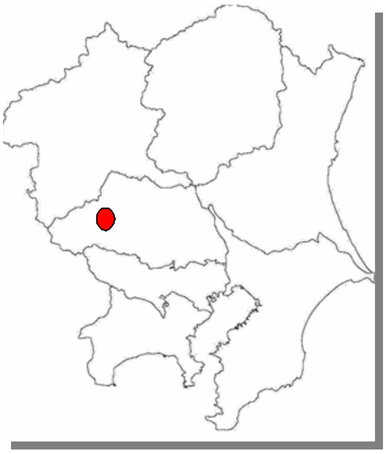
定期演奏会ステージドリル
（横須賀市文化会館）

特記事項

4　今後の活動

音楽隊は、演奏を通じて市民に防火・防災思想の普及と消防団の広報を図ると供に、日頃の訓練成果を披露することにより、消防団のイメージアップを図るように努力している。

# 秩父に縁のある著名人を招いて「秩父消防ふれあい祭り」



**消防団概要**

都道府県名　埼玉県
消防団名　秩父市消防団
実員数　１，１３８名（うち女性団員１６名）
消防団事務局　秩父市消防団事務局
℡　０４９４－２７－０１１９

**活動内容**

１　秩父消防ふれあい祭り

消防団の年間計画に基づき、毎年１１月の第１日曜日に消防団特別点検と同時に「秩父消防ふれあい祭り」というイベントを企画している。

平成１７年度で第６回を数え、年々入場者も増加し、同年には１５，０００人を超えた。

祭りの内容は、秩父に縁のある有名人を招いて、一日消防団長による特別点検を実施している。

また、各分団によるイベントを実施し、消防と連携する関係団体に働きかけイベント数も増やしている。

**特記事項**

２　消防団のＰＲとして

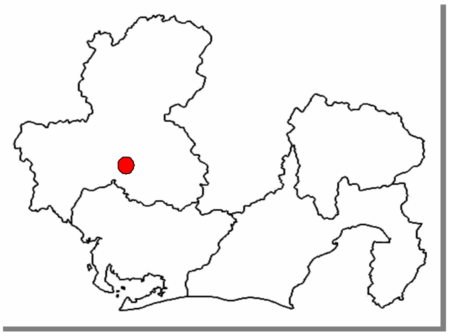
この企画は、同時に山林火災防御訓練も行われ、最後に参加車両全台による一斉放水で終了する。

年々、参加者数が増加していることで、地域住民に消防団の活動をＰＲする良い機会となっている。

# 劇団による消防団ＰＲ

**消防団概要**

都道府県名　岐阜県
消防団名　御嵩町消防団
実員数　１６０名（うち女性団員０名）
消防団事務局　御嵩町役場　総務管理課
℡　０５７４－６７－２１１１



**活動内容**

## １　消防団に劇団を

御嵩町消防団第２分団では、住民の皆さんに消防団活動をＰＲするために、「あさがお」という劇団をつくり、毎年開催される御嵩町夏祭り「よってりゃあみたけ（※）」に出演している。

## ２　活動内容

６年前、「よってりゃあみたけ」のパフォーマンス大会に出場し、優勝した。その後２年続けて優勝したことから主催者側から特別枠がもらえるようになり、毎年、消火器の取り扱い方の説明を取り入れたりして趣向を凝らしたドタバタ劇を行っている。

「あさがお」による消防団ＰＲ活動

写真提供　御嵩町消防団

## ３　評判の劇団

今年の劇も非常に好評で「よってりゃあ、みたけ」以外にも地区の公民館まつりでそのビデオを上映したり、町以外の公民館まつりからも依頼が来た。

**※　「よってりゃあみたけ」とは？**
**中山道の宿場町として栄えていた御嵩町のかつてのにぎわいを町民自身の手で再現したい･･･そんな思いで始まった「参加型」のお祭り。**

**特記事項**

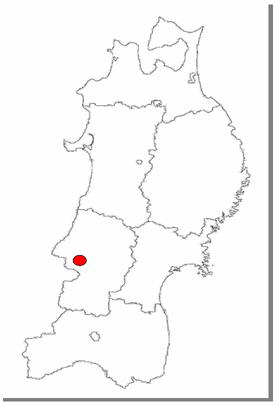
## ４　劇団を通しての効果

これまでの消防団のイメージが明るいものに変わった。また、現在は第２分団だけの活動なので、御嵩町消防団全体の活動としていきたい。

# 団員手作りの纏・法被で消防団をＰＲ

**消防団概要**

都道府県名　山形県
消防団名　鶴岡市鶴岡消防団
実員数　１,３６９名（うち女性団員６名）
消防団事務局　鶴岡地区消防事務組合警防課
℡　０２３５－２２－８３２０



**活動内容**

## １　消防団に「纏隊」を結成

消防の魂を伝え、鶴岡消防団の心意気を示すために、平成３年４月に「纏隊」を発足。

青森県弘前市消防団纏振りの指導を受けて出初め式や春季消防演習、各祝賀行事でその勇姿を披露している。

## ２　団員自ら纏の頭・法被をデザイン

平成７年には、纏隊のシンボルである「纏」を制作することとなり、団員自ら「纏の頭」をデザインした。

平成１１年には纏隊が着用する法被を作成するため、鶴岡市の鶴を基調とした法被をデザインした。

← 団員自らデザインした「纏の頭」

鶴岡市の鶴を基調とした法被
これも団員がデザインした

写真提供　鶴岡市鶴岡消防団

活動内容

## ３　消防団車庫のシャッターも団員自らデザイン

この纏や法被をデザインした団員は、職業が看板のデザイン・制作等であることから、消防団の各ポンプ庫のシャッターにも地域にあったユーモアのある図柄をデザインしている。

善宝寺の五重の塔をモチーフにしたシャッター

写真提供　鶴岡市鶴岡消防団

特記事項

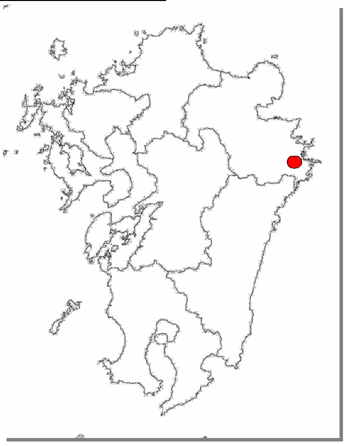
## ４　ＰＲ効果

纏、法被、ポンプ庫シャッターの図柄は、地域特性に合ったユーモアのある図柄をデザインしているので、地域の方々からも喜ばれ、親しまれている。

枝豆の白山だだちゃをモチーフにしたシャッター

写真提供　鶴岡市鶴岡消防団

# 消防戦隊キコレンジャーで消防団ＰＲ



**消防団概要**

都道府県名　大分県
消防団名　佐伯市直川消防団
実員数　１２４名
消防団事務局　佐伯市直川振興局
℡　０９７２－５８－２１１１
URL　http://www.7a.biglobe.ne.jp/%7es2k-kikoren/

**活動内容**

上直見分団の５名で、「消防戦隊キコレンジャー」というものを構成し、地域住民の防火意識向上のため、日々ＰＲ活動に励んでいる。

過去の活動

・平成１６年１０月３１日ふるさと祭りに参加。（大分県直川村）
・平成１６年１２月６日鉱泉ロードレース大会に参加　。（大分県直川村）
・平成１６年１２月２４日クリスマスプレゼント配布。（大分県直川村）
・平成１７年４月２７日テレビ出演。（大分県佐伯市）
・平成１７年６月２６日ホームページ開設。
・平成１７年６月２８日毎日新聞（夕刊）に掲載される。
・平成１７年７月１７日、キャンプ場開きでヒーローショー開催。（大分県佐伯市直川）
・平成１７年１１月１０日ＦＵＫＵＯＫＡヒーローフェスタ２００５に参加。（福岡キャナルシティ）
・平成１７年１１月２１日発売の週刊大衆に掲載される。
・平成１７年１２月２日九州朝日放送（ＫＢＣ）の番組「アサデス。」に登場。
・平成１７年１２月３日歳末チャリティーショー出演。（大分県佐伯市）
・平成１７年１２月１０日パークプレイスでヒーローショー開催。（大分市）
・平成１７年１２月１２日ＯＢＳ（大分放送）の番組「ＯＢＳニュースライン」に登場。
・平成１７年１２月１４日豊寿苑慰問。（大分県佐伯市弥生）
・平成１８年１月１日西日本新聞（朝刊）に掲載される。

# 消防戦隊キコレンジャー　ホームページ

004097

入り口はこちら

君たちは知っているか？人知れず悪の手から人々を守る為に戦う五人の戦士を！！

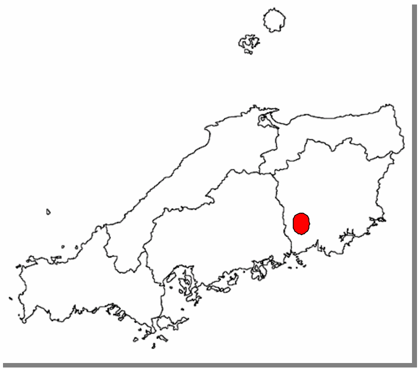
消防戦隊キコレンジャー！お呼びとあらば即参上！！

## キコレンジャーとは？

平成１６年秋、大分県の直川村（現佐伯市直川）に誕生した五人組の消防戦士。メンバーは消防団員並びにその関係者で構成されている。キコレンジャーの”キコ”は消防団員の詰所である分団機庫に由来している。表向きの活動は、地域住民に、防火意識の向上活動を通して、火災予防を訴えることであるが、真の目的は火災の影で暗躍するフシンビー帝国の野望を阻止することにある。

めいんめにゅう　メインメニュー　MAINMENU　めいんめにゅう　メインメニュー　MAINMENU

# 広報用ＰＲビデオを作成



## 消防団概要

都道府県名　岡山県
消防団名　矢掛町消防団
実員数　５９６名
消防団事務局　矢掛町　総務企画課
℡　０８６６－８２－１０１０

## 活動内容

１　実施の経緯

近年，若年層の消防団離れが顕著で，新入団員の確保が年々困難となっている現状を打開する方法として，消防団のプロモーションビデオを作成し，消防団員の使命や役割を収録放映することで，新入団員の新規確保と，団員相互の結束力の増進を図る目的で作成したもの。当時の消防団幹部から提案があり，実現。

２　手法

撮影編集を外部委託。

団幹部からの提案の際に，絵コンテが作成されており，それを基に撮影業者により編集し，撮影。７分団あるため，七人の侍ならぬ，七人の団員を基調に作成。

撮影は，休日の早　朝から撮影し，団員の負担軽減を図りながら実施。

その他，地元ＣＡＴＶによる撮影編集によるものは，ＣＡＴＶがニュース用に撮影した映像を編集し，作成したものも存在する。

３　放映手段

平成１５年ＣＡＴＶ（矢掛放送）で完成後，１ヶ月間週１０回程度放映。

その後，火災予防週間等で，週７回程度放映。

４　効果

放映により構成等の評価については耳目を集めたが，新入団員の増加に直截に寄与したかどうかは不明。撮影に参加した団員は，結束力の向上に繋がった。

## 特記事項

５　今後の方針

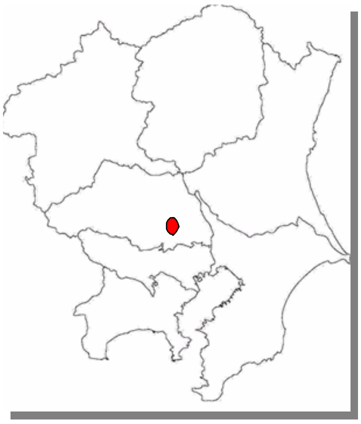
ＰＲビデオは３部あり，外部の撮影業者による作品と，地元ＣＡＴＶによる作品が２部ある。

今後は，これら３部のビデオを火災予防週間等に継続して放映し，団のＰＲを実施する。

# 新成人に消防団をＰＲ

**消防団概要**

都道府県名　埼玉県
消防団名　川口市消防団
実員数　３６８名（うち女性団員１５名）
消防団事務局　川口市消防本部　消防総務課消防団係
TEL　０４８－２６１－８１０２



**活動内容**

１　新成人に消防団をＰＲ

川口市消防団第１支団では、平成１１年から川口会場で、消防車両や制服等の展示、ＰＲ写真パネルによる消防団活動の紹介、第１支団で作成した消防団ＰＲビデオの上映、消防団員募集パンフレットの配布などを行い、消防団活動を少しでも理解してもらえるよう、ＰＲに努めている。

成人式会場に
消防団コーナー開設

手作りの肉まんを振る舞う団員

消防団に関するアンケートに答える新成人
この結果を入団勧誘に役立てる

写真提供　川口市消防団

**特記事項**

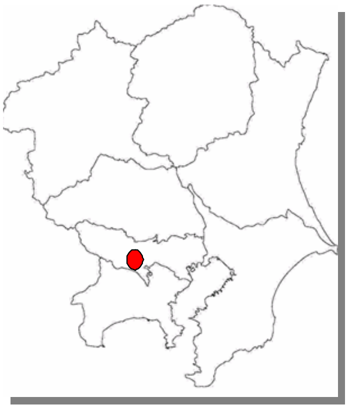
２　ＰＲの効果

新成人の方々には、消防団についてのアンケートに協力していただき、その結果を若年層の入団促進資料として、入団勧誘に役立てている。

# ホームページで消防団をＰＲ

**消防団概要**

都道府県名　東京都
消防団名　多摩市消防団
実員数　２０４名（うち女性団員０名）
消防団事務局　多摩市総務部防災課　消防係
TEL　０４２－３３８－６８０２
URL　http://www.geocities.jp/tamafd10/



**活動内容**

## １　ホームページ作成のきっかけ

多摩市消防団第１０分団は、町田市からの編入地域を母体とし、管轄区域が多摩ニュータウン区域となっている。

都市の中では、人々の繋がりが希薄になてきており、団員確保にも苦労している。そこで、団員確保対策と市民の方々に消防団活動への理解を深めていただくため、第１０分団ではホームページを開設した。

↑

多摩市消防団第１０分団ホームページ　→

**特記事項**

## ２　反　響

このホームページを見て入団した団員もおり、今後も充実を図っていく予定。

今後は、このＨＰを幅広い方々に見ていただくため、広報の仕方に工夫を凝らしていきたいと考えている。

# コンクール入選のホームページ

消防団概要

都道府県名　京都府
消防団名　木津町消防団
実員数　２５６名（うち女性団員１９名）
消防団事務局　木津町役場　総務課
℡　０７７４－７２－０５０１
URL　http://www.kyoto-kizu.jp/syobodan/

活動内容

１　ホームページの内容

木津町消防団では、ホームページを開設し、消防団関連のニュースや防災訓練の様子、出動状況の報告などを掲載している。

このホームページを通じて町民の方々に消防団の存在や活動内容を周知理解していただけるよう日々更新している。

２　コンクール入選

また、このホームページは、「第６回全国消防広報コンクールホームページ部門」において入選している。今後もわかりやすく親しまれるホームページ作りに努めて、地域住民の消防団への理解を促すことにより、消防団の充実強化を図っていきたい。

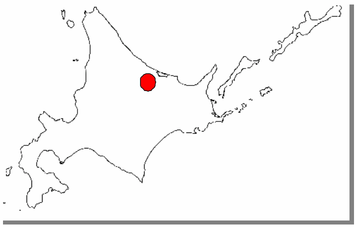
特記事項

３　団長自ら作成・更新を担当

・ＨＰのトップページは音楽が流れ、画面が動くので必見の出来栄えと自負している。
・このホームページは、消防団長自ら作成・更新をしている。
・ホームページを見て消防団に興味を持ち、入団した団員もいる。
・今後は、啓発に関する分野を開拓していきたいと考えている。

# 『着ぐるみ』着て火災の恐ろしさを優しく伝える

**消防団概要**



都道府県名　北海道
消防団名　上湧別町（かみゆうべつ）消防団
実員数　９９名（うち女性団員１０名）
消防団事務局　遠軽地区広域組合消防署上湧別支署
℡　０１５８６－２－４１１１

**活動内容**

## １　上湧別町女性消防団員の主な活動

上湧別町女性消防団は、平成５年に誕生し、主に火災予防期間中に合わせた単身高齢者宅訪問に取り組んでいた。

しかし、防災意識は小さな頃から身に付けることが最も効果的ではないかとの考えから、平成１７年・１８年には、それぞれ町内にある４ヶ所の保育所・幼稚園の避難訓練指導に取組んだ。

## ２　園児への防火教育

それぞれの施設に女性団員２名１組で赴き、園児の興味を惹かせるため、動物の着ぐるみを着て、園児達を楽しませながら、火災の恐ろしさを優しく・分かり易く伝えた。

写真提供　上湧別町消防団

**特記事項**

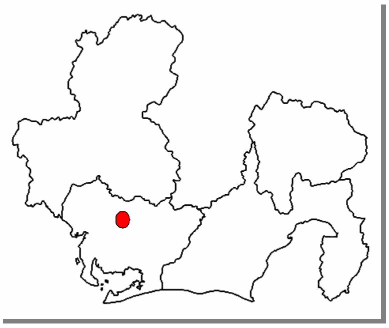
## ３　消防職員と女性消防団員の連携

幼稚園・保育園での防火教育については、消防署の訓練指導と併せて行っており、両者の連携により、子供達には興味深い行事となっている。

## ４　効果

園児達は、歓声を上げ食い入るような視線で女性消防団員の指導を受けていた。女性消防団員は、このような園児の反応を受け「さらにアイディアを出し合い、子供達の防災の意識を高めたい」と今後の内容を試行錯誤している。

# オリジナル防火絵本完成



| 消防団概要 | |
|---|---|
| 都道府県名 | 愛知県 |
| 消防団名 | 長久手(ながくて)町消防団 |
| 実員数 | １６７名（うち女性団員１０名） |
| 消防団事務局 | 長久手町消防本部　総務課消防係<br>TEL　０５６１－６２－７８８６ |

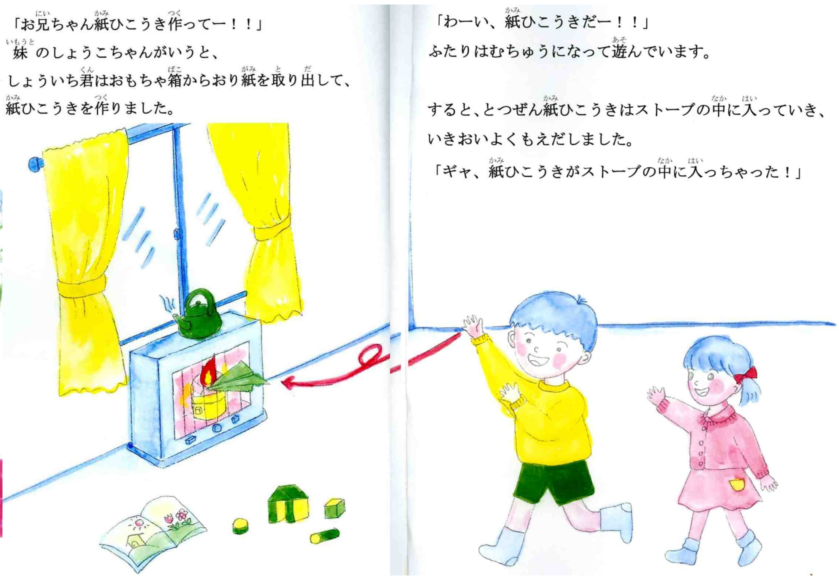
**活動内容**

## 1　活動概要

長久手町消防団では、女性団員（ポピーズ）が、女性の優しさや細やかな配慮を活かして独り暮らしの高齢者宅への防火訪問を行うなど、地域に密着した火災予防啓発運動を実施している。

## 2　絵本制作の経緯

このたび、幼稚園児及び保育園児等の幼年期からの防火教育用に女性消防団員が知恵を出し合いオリジナルの防火絵本「火をやっつけろ！！」を作成した。




資料提供　長久手町消防団

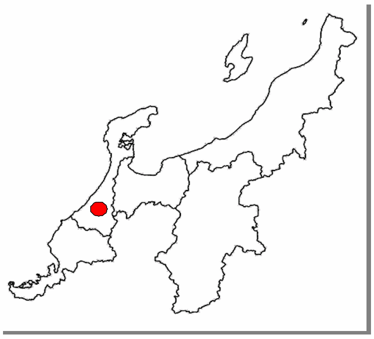
**特記事項**

## 3　絵本の概要

サイズ：Ａ４　オールカラー　ページ数１８頁

# 分かり易く・楽しく防火を学ぶ

**消防団概要**



都 道 府 県 名　石川県
消　防　団　名　小松市消防団
実　　員　　数　３９３名（うち女性団員１６名）
消防団事務局　小松市消防本部　消防団事務局
　　　　　　　　TEL　０７６１－２０－２７０５

**活動内容**

**１　概要**

写真提供　小松市消防団

小松市消防団では、防災教育の一環として、小学校の「新一年生の集い」の場を借りて、消防団員・消防職員による防火演劇を実施している。

**２　活動の経緯**

新たに小学校へ入学する市内の子供及び保護者に対し、火災の怖さ、火災予防の普及啓発を図り、消防団ＰＲを実施する良い機会であると捉え実施。

**３　過去の実績**

平成９年１月２６日から平成１７年２月２７日まで毎年１回実施し、これまで計８回実施している。

**４　防火演劇の内容**

女性団員と消防職員が丹念に打合せを実施し、公演している。脚本から衣装作りまでを協力して行い、災害時の対処方法を分かり易く呼びかけている。

**５　過去の実績**

**(1)　平成１７年度**　「地震から生まれた火遊びデビルとファイヤーマン」
公演時間：２０分　練習回数１２回（２時間の練習）

**(2)　平成１６年度**　「さる太の火事騒ぎ」
公演時間：２０分　練習回数８回（２時間の練習）

**特記事項**

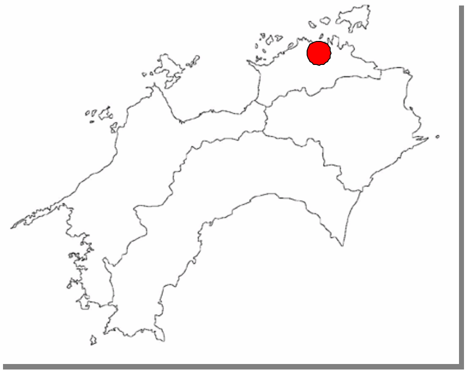
**６　効果**

新一年生や保護者の方々に「火事や地震が起きたときどうすれば良いか」を分かり易く呼びかけることで、防火思想の普及と消防団ＰＲにも効果を上げている。

# 女性消防団　愛称公募

**消防団概要**

都道府県名　徳島県
消防団名　鳴門市消防団
実員数　９４９名
（うち女性団員１７名）
消防団事務局　鳴門市消防本部　総務課
TEL　０８８－６８４－１３３２



**活動内容**

１　女性消防分団の発足

今世紀前半にも発生すると予測されている東南海・南海地震や、国民保護法では、消防団は避難住民の誘導などの役割を担うこととされていることなどから、消防庁では消防団への加入促進として女性の入団を推奨し、充実強化を図っている。このような状況の中、鳴門市消防本部では、災害時の情報収集・応急救護・避難誘導など後方支援的な活動を期待して、平成１６年７月１日、女性消防分団を発足した。

２　構成

市内在住の 18 歳から 53 歳までの 15 名で、職業は、大学生・会社員主婦、中には看護師が２名含まれており、内１名は救急救命士の資格を取得している。

３　愛称を公募

愛称も公募し、関係者の審査の結果、鳴門市を代表する「うずしお」の「うず」、女性をイメージする「小町」をあわせ、『うず小町』に決定した。

４　活動内容

①規律・基本訓練の実施
②地元商店街主催のイベントで防災グッズなどを配布し、防火防災意識の高揚・啓発活動
②市総合防災訓練をはじめ、各種訓練の参加
③災害時要援護者宅（市内独居老人宅など）の防火診断
⑤年末夜警（広報車による防火広報）

特
記
事
項

5　消防庁長官表彰

平成１７年２月２５日、消防庁長官から積極的に女性消防団員を採用しているとして、鳴門市消防団に「団員確保功労表彰」を授与された。

6　地域の反応等

特に、災害時要援護者宅の防火診断・市内各地での消火訓練など、女性特有の感性を生かした「きめ細かい優しさあふれる危機対応」は、非常に好評である。若い団員は、結婚・出産と一時的に活動が休止するので、多くの女性団員の確保に努めたい。

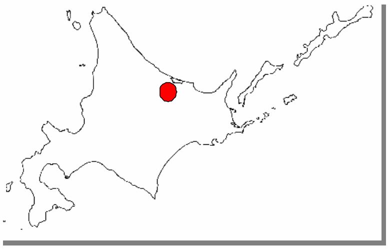
「うず小町」の防火訪問

写真提供　鳴門市消防団

# 手作り防火チラシを作成し防火広報

**消防団概要**

| | |
|---|---|
| 都道府県名 | 北海道 |
| 消防団名 | 常呂町消防団 |
| 実員数 | ９０名（うち女性団員８名） |
| 消防団事務局 | 網走地区消防組合消防署<br>常呂分署<br>TEL　０１５２－５４－２６３０ |



**活動内容**

１　活動概要

常呂消防団では、毎年春・秋の火災予防運動期間中に、一人暮らしの高齢者宅を女性消防団員が訪問している。

２　手作りチラシ

訪問する際は、手作りで作成したチラシなどを配り、火災予防の啓発を行っている。

チラシを配ることで、台所など火を使うところに張り出してもらうことで、一定の予防効果を出している。

また、訪問先で交流を図ることにより、地域の実情を把握している。

提供　常呂消防団

# 印象に残る防火訪問を

**消防団概要**

都道府県名　三重県
消防団名　津市香良洲（つしからす）消防団
実員数　９３名（うち女性団員１２名）
消防団事務局　三重県津市香良洲消防団事務局
TEL　０５９－２９２－４３７６

**活動内容**

## １　防火訪問の経緯

近年、東海地震・南海地震・東南海地震の発生が心配されており、香良洲消防団では、女性消防団員の前進である「女性消防隊」の時から、独り暮らし高齢者宅の防火診断を実施している。訪問する際は、地域の民生委員と一緒に伺っている。

## ２　印象に残るために

訪問時には、消防団員の訪問が印象に残り、火災予防の意識を持ち続けてくれるよう、手作りの記念品をプレゼントしている。

この訪問を楽しみにしている方々が大勢おり、今までの記念品全てを大事に飾ってくれている方もおり、女性消防団員の励みとなっている。

～女性消防団員手作りの記念品～　右：折り紙で作った爪楊枝入れ　左：飾り糸とビーズで作ったキーホルダー

写真提供　三重県津市香良洲消防団

**特記事項**

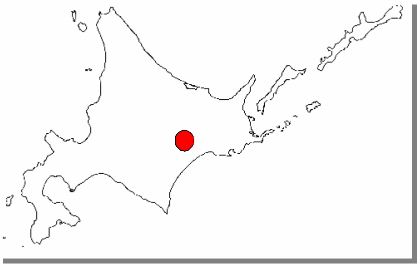
## ３　平成１８年度実績

・訪問した独り暮らし高齢者宅　１２８世帯
・在宅していた世帯数　８４世帯
・今年度の診断で処置する方が望ましい箇所が数件あったが、全般的に指摘事項はなかった。

# アンケートを活用した防火訪問

**消防団概要**

都道府県名　北海道
消防団名　標茶町消防団
実員数　１２５名(うち女性団員１０名)
消防団事務局　標茶消防署　警防管理課警防係
TEL　０１５－４８５－２０２１



**活動内容**

### １　防火訪問と併せて除雪作業も

毎年、１１月と２月の年２回、一人住まいの６５歳以上の方を対象とした「単身高齢者宅防火訪問」を実施している。

活動内容は、各家庭で使われている暖房器具やガスコンロ、風呂釜、ボイラー、煙突などの火元の点検を行っている。

また、２月には玄関先やＦＦストーブの給排気筒付近の除雪も行っている。

写真提供　標茶消防団

**特記事項**

### ２　アンケートを実施

高齢者宅を訪問するだけでは、見えてこない事もあるので、数年前からは災害に関するアンケートを併せて実施し、集計結果を元に今後の防災活動に役立てている。

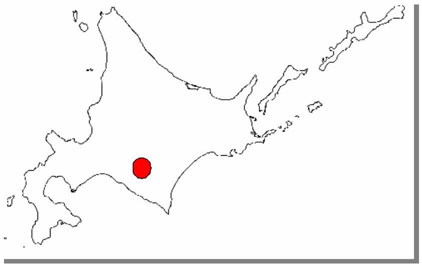
### ３　記念ＰＲグッズも配布

火災予防の呼びかけとして、毎年工夫を凝らして作成したＰＲグッズも配布している。

写真提供　標茶消防団

# 住宅用火災警報器の勉強会を実施

| 消防団概要 | | |
|---|---|---|
| 都道府県名 | 北海道 | |
| 消防団名 | 芽室町消防団（めむろ） | |
| 実員数 | ８３名（うち女性団員１０名） | |
| 消防団事務局 | 芽室町消防署　消防団事務局<br>℡　０１５５－６２－２８２１ | |



**活動内容**

## １　芽室町女性消防団員の活動

芽室町消防団の女性団員は、予防・広報活動、研修訓練、現場活動（後方支援）を主に、地域住民とのふれあいを大切にしてよりよい暮らしの街づくりに活躍している。

## ２　火災予防運動

春・秋の火災予防運動では、大型店舗に防火意識を高める啓発資料を配付、広報車による呼びかけを行うとともに、子供たちに火災の恐ろしさを教え、日頃から住民に接した火災予防活動を積極的に推し進めている。

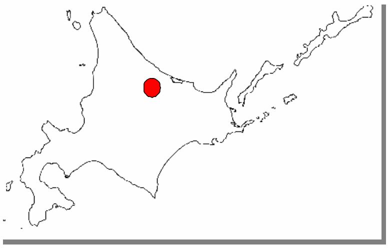
## ３　住宅用火災警報機設置基準の勉強会

住宅用火災警報機の設置義務化に伴い、高齢者宅の訪問に備えて警報器設置基準を学ぶため、意欲的に勉強会を行い取り組んでいる。

写真提供　芽室町消防団
（上）防火広報を行う女性団員
（下）住宅火災警報器の講義を受ける女性団員

# 手作り「ミニまとい」で防火訪問

**消防団概要**



都道府県名　北海道
消防団名　湧別町消防団（ゆうべつ）
実員数　９６名（うち女性団員８名）
消防団事務局　遠軽地区広域組合消防署湧別支署
℡　０１５８６－５－２３３８

**活動内容**

## １　火災予防指導

湧別町消防団では、平成６年６月に女性消防団員を任用して以来、毎年２回単身高齢者宅を訪問して火災予防を指導している。

## ２　訪問時の工夫

訪問時に手作り「ミニまとい」を作成しプレゼントしている。

以前は織鶴に防火標語の短冊を付けたものを配布していましたが、より防火効果の向上を狙い「ミニまとい」を作成した。

お年寄りは自宅内に「ミニまとい」を飾り毎年の訪問を楽しみにしている。

**特記事項**

## ３　効果

高齢者宅を訪問した際に啓発物品が居間に飾られて女性団員の訪問を楽しみにしている人もおり、一定の火災予防効果がある。

## ４　改善点

なお、改善点としては、「まとい」作成に時間がかかるとともに、一回の訪問件数が少ない（２０件前後）ことである。

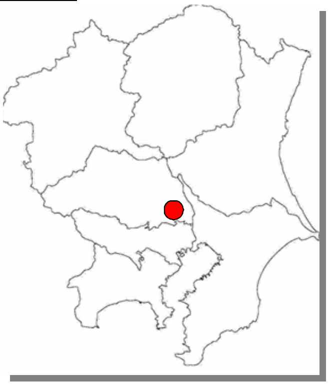
## 湧別町女性消防団防火訪問

←「ミニまとい」を
作成する女性団員

防火訪問を →
する女性団員

写真提供　湧別町消防団

# 毎月平均７回の防火指導を実施



**消防団概要**

都道府県名　埼玉県
消防団名　三郷（みさと）市消防団
実員数　３４１名（うち女性団員９名）
消防団事務局　三郷市消防本部　総務課
℡　０４８－９５２－１２１５

**活動内容**

１　三郷市女性消防団員の主な業務

三郷市消防団女性団員は、①高齢者宅の住宅防火訪問、②各種団体に対する応急手当普及活動や出張救急教室、③幼稚園等での防火訪問、④広報活動を主な業務として行っている。

２　現在の重点施策

火災で亡くなる高齢者の方が多いことから、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問を重点的に行っている。

３　実施方法

女性消防団員は、二人一組になり市内民生委員の協力を得ながら民生委員と共に一人暮らしの高齢者宅を訪問し、台所などの火の取り扱う場所や電気器具コードやコンセント等の点検清掃などを行い、高齢者の方とコミュニケーションを図りながら火災予防に努めている。

４　訪問時の工夫

訪問にあたり、団員達自ら心をこめた手作りのオリジナルパンフレットや記念品のハッピの折り紙を配布するなど、高齢者の方に大変喜ばれており、また民生委員の方々からも好評を得ている。

**特記事項**

５　実施結果

防火訪問は、昨年の６月から毎月実施しており、主に午前中の約３時間を利用して実施、訪問回数は月平均７回、１回に３～５件の高齢者宅を訪問し、１年経過した５月３１日現在で３４４世帯の訪問を実施した。

６　広がる活動

昨年から市内の自主防災組織連絡協議会から自主防災訓練指導者育成のための応急手当の指導に伴う講師要請があり、三角巾を使用した応急手当の方法や応急担架の作り方、搬送方法などの指導をするなど、地域防災リーダーとして活躍している。

特記事項

7　今後の活動

今後は、現在行っている活動を更に充実させるため、女性消防団員の増員を図るとともに、女性消防団を組織する消防団と積極的に交流を深め、情報交換を図りながら先進的事業等を取り入れていきたいと考えている。

## 三郷市女性消防団員防火訪問

住宅火災警報器の説明に
訪れた女性団員

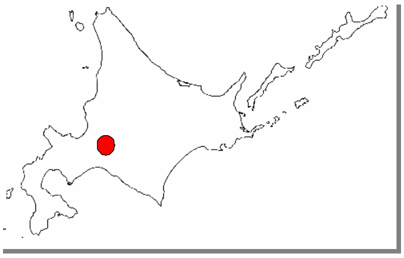
女性消防団員で結成した
ハンドベル隊が火災予防のＰＲ

写真提供　三郷市消防団

# 念 願 の 登 梯 デ ビ ュ ー

**消防団概要**

都道府県名　北海道
消防団名　美唄（びばい）市消防団
実員数　２５９名(うち女性団員１２名)
消防団事務局　美唄市消防本部　総務課
TEL　０１２６－６６－２２２２



**活動内容**

１　木遣りと纏振り
　美唄市消防団では、昭和４９年の消防出初め式から木遣りと纏振りをおこなっており、消防をＰＲする大切な活動となっている。

２　念願の登梯デビュー
　美唄市消防団では、女性消防団員が小さい頃から憧れだった「登梯」に挑戦し、厳しい練習の末、平成９年の「歌舞裸まつり」で見事にデビューし、威勢良く妙技を披露した。

雪が積もる厳寒のなか
威勢良く妙技を披露する女性団員→

写真提供　北海道美唄市消防団

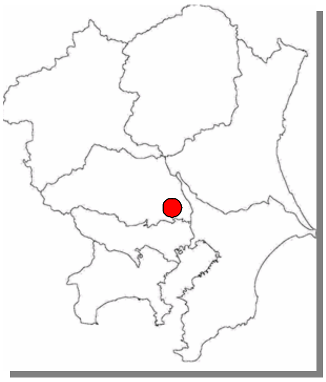
**特記事項**

３　ＰＲ効果
　女性の登梯は、美唄では初めてのことで、多数の市民の方々から大きな拍手をいただいた。
　また、地域への消防団ＰＲとして、大きな効果をあげた。

# 女性団員が訓練を通じて消防署の活動を理解

**消防団概要**

都道府県名　埼玉県
消防団名　草加市消防団
実員数　１９４名（うち女性団員６名）
消防団事務局　草加市消防本部総務課
℡　０４８－９２４－２１１１



**活動内容**

１　女性団員が様々な訓練を実施

草加市消防団では、これまで女性消防団員の活動としては、広報活動が主な業務であった。しかし、女性消防団員の間から、広報活動だけではなく、もっと幅広い活動をしたいと提案があった。

そこで、消防署と消防団の連携を図ることを目的に、消防職員が女性消防団を指導する形で様々な訓練を実施した。

（実施内容）

１　放水訓練
２　結索訓練
３　座席懸垂訓練
４　救急車同乗研修

**救急車同乗研修→**

写真提供：草加市消防団

**特記事項**

２　効果

様々な訓練を実施することで、消防署が現場でどのような活動を行うか、また消防団はどのようなことを災害現場で行わなければならないかということを学んだ。

救急車同乗研修では、現場を肌で感じることによって、消防活動に対する意識を更に高めることが出来、女性団員の意識が変わった。

# 条例改正で消防団再編

## 消防団概要

都道府県名　福岡県
消防団名　立花町消防団
実員数　２４０名（うち女性団員２５名）
消防団事務局　立花町総務課
TEL　０９４３－２３－５１４１

## 活動内容

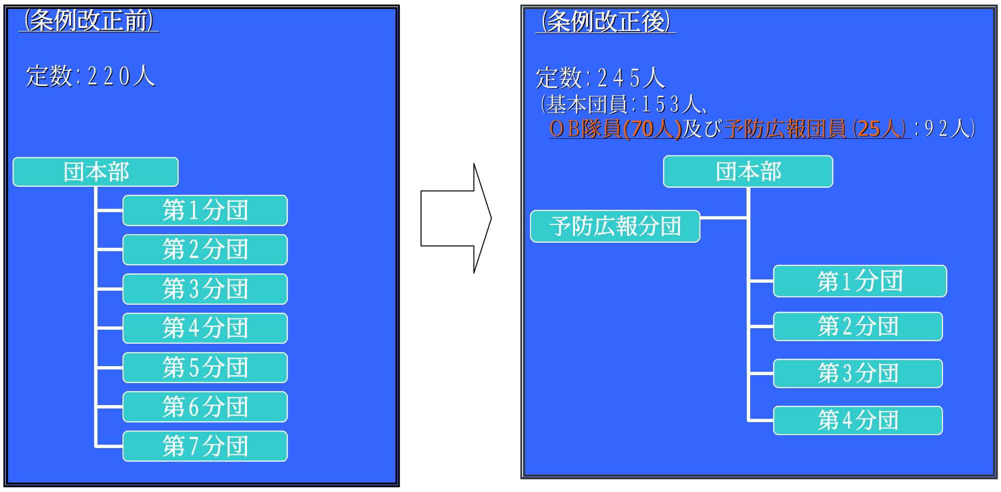
立花町消防団では、消防団員の減少、サラリーマン化等の問題を抱えていたことから、消防団充実強化事業として「立花町消防団再編計画」を策定した。その計画に基づき、条例改正し、新たに機能別団員及び機能別分団を導入した。

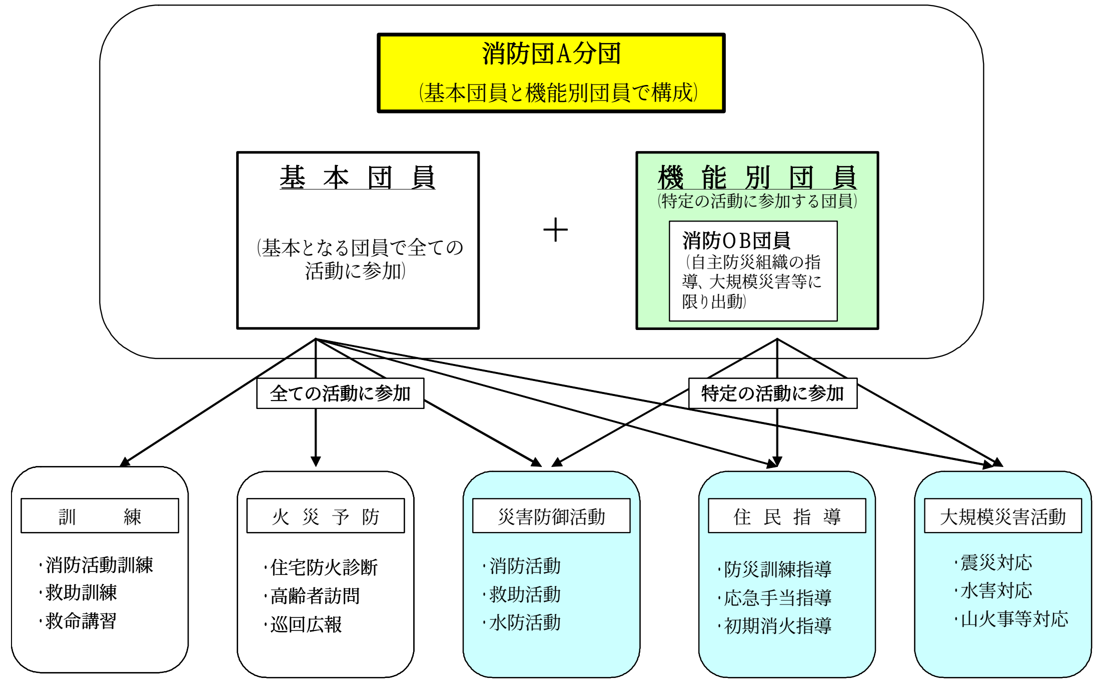
### 立花町消防団再編の概要

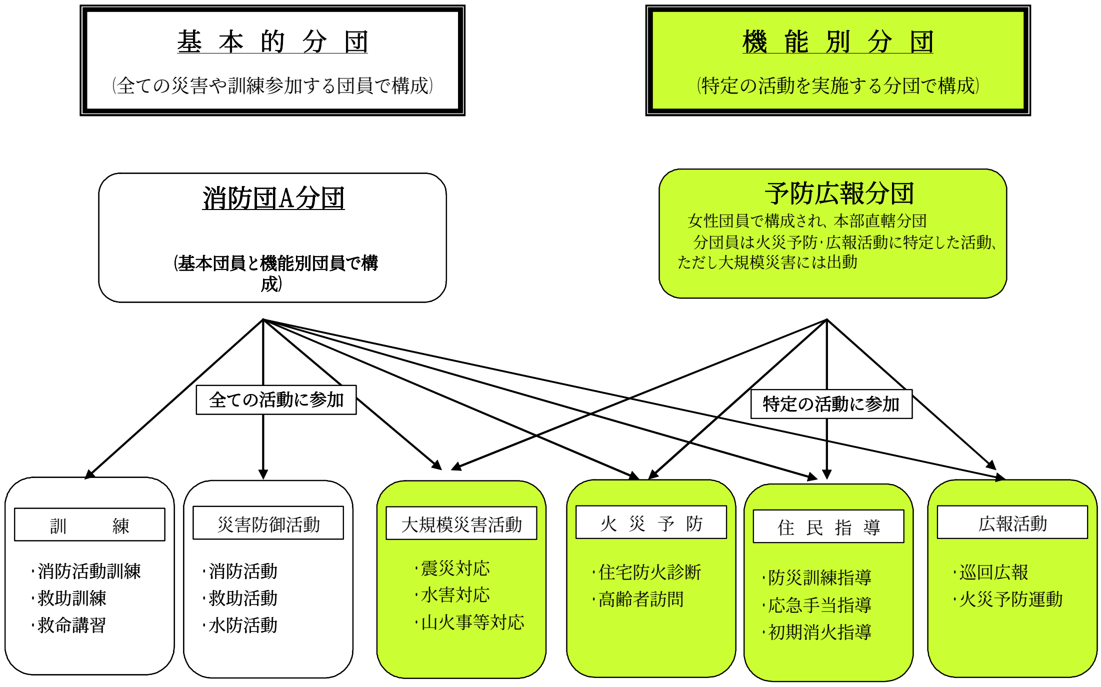
機能別分団（女性団員、予防広報部）

機能別団員（エキスパート隊員）

### 立花町の組織の改編



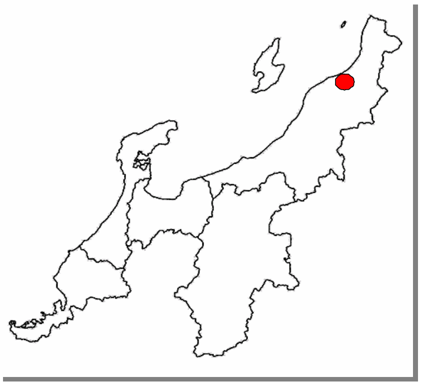

消防団A分団
(基本団員と機能別団員で構成)
基 本 団 員
(基本となる団員で全ての活動に参加)
＋
機 能 別 団 員
(特定の活動に参加する団員)
消防ＯＢ団員
(自主防災組織の指導、大規模災害等に限り出動)
全ての活動に参加
特定の活動に参加
訓　　練
・消防活動訓練
・救助訓練
・救命講習
火 災 予 防
・住宅防火診断
・高齢者訪問
・巡回広報
災害防御活動
・消防活動
・救助活動
・水防活動
住 民 指 導
・防災訓練指導
・応急手当指導
・初期消火指導
大規模災害活動
・震災対応
・水害対応
・山火事等対応


基 本 的 分 団
(全ての災害や訓練参加する団員で構成)
機 能 別 分 団
(特定の活動を実施する分団で構成)
消防団A分団
(基本団員と機能別団員で構成)
予防広報分団
女性団員で構成され、本部直轄分団
分団員は火災予防・広報活動に特定した活動、ただし大規模災害には出動
全ての活動に参加
特定の活動に参加
訓　　練
・消防活動訓練
・救助訓練
・救命講習
災害防御活動
・消防活動
・救助活動
・水防活動
大規模災害活動
・震災対応
・水害対応
・山火事等対応
火 災 予 防
・住宅防火診断
・高齢者訪問
住 民 指 導
・防災訓練指導
・応急手当指導
・初期消火指導
広報活動
・巡回広報
・火災予防運動

# 新生新潟市消防団、女性消防団員１１２人

**消防団概要**

都道府県名　新潟県
消防団名　新潟市消防団
実員数　６，１００人
（うち女性１１２人）
消防団事務局　新潟市消防局警防課
TEL　０２５－２２３－６２５３



**活動内容**

**１　女性消防団員増員計画**

新潟市消防団では，平成１８年度事業の重点推進施策として，女性消防団員を増強採用するため，各方面隊１５名（８方面隊）合計１２０名を目標に積極的な入団促進事業を展開することとした。

**２　入団勧誘方法**

入団勧誘等については，①新潟市広報誌（全世帯）や②各支所広報誌（支所所管区域全世帯）③市広報番組への出演などと併せ④日本消防協会仕様のポスターを作製し、広く募集を呼びかける一方で、⑤男性中心の団員募集リーフレットを刷新し女性紙面を増やした。⑥地域での勧誘は，各方面隊を中心に分団長等が地元のサークル活動へ出向き、主婦層の地域コミュニケーションの力を活かし入団促進を図った。

**３　入団後の活動**

入団後は，各方面隊本部付きとして基礎研修（座学）及び応急手当指導員講習の受講，火災予防運動等の防火広報，高齢者家庭を訪問しての住宅防火指導や警戒時の後方支援などソフト面での活動を実施する。

写真提供　新潟市消防団

**特記事項**

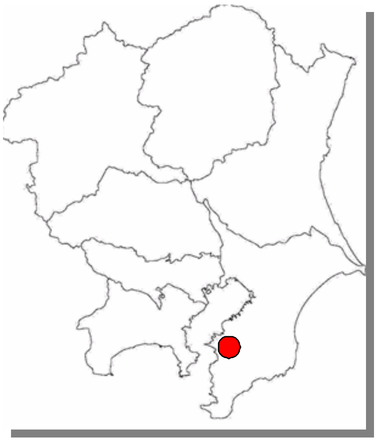
**４　政令指定都市移行に向けて**

平成１７年３月に近隣１３市町村及び同年１０月に隣接１町との広域合併により，各市町村の長い歴史と伝統ある消防団が解団し，新たに「新潟市消防団」として発足，１団８方面隊９９個分団４７９個班，条例定数６，４４３人の組織体制で，平成１９年４月の政令都市移行に向け活動している。

女性団員募集パンフレット

提供　新潟市消防団

# 消防団員確保推進委員で団員数減少に歯止め



| | |
|---|---|
| 消防団概要 | 都道府県名　千葉県<br>消 防 団 名　君津市消防団<br>実　員　数　９３５名（うち女性団員０名）<br>消防団事務局　君津市消防本部消防総務課<br>　　　　　　　TEL　０４３９－５３－１９０２ |

**活動内容**

１　地域ぐるみの団員確保

君津市消防団では、平成８年には９４６名いた団員数が平成１４年には８９５名となっていた（資料１）。

火災や救助要請が同時多発する大規模災害時に対応するためには消防団を軸とした地域ぐるみの防災活動が重要であることから、消防団員数減少打開策として、平成１４年から消防団長の推薦する市政協力員や消防団ＯＢを「消防団員確保推進委員」として委嘱し、積極的に消防団員確保を行っている。

２　「消防団員確保推進委員」の活動内容

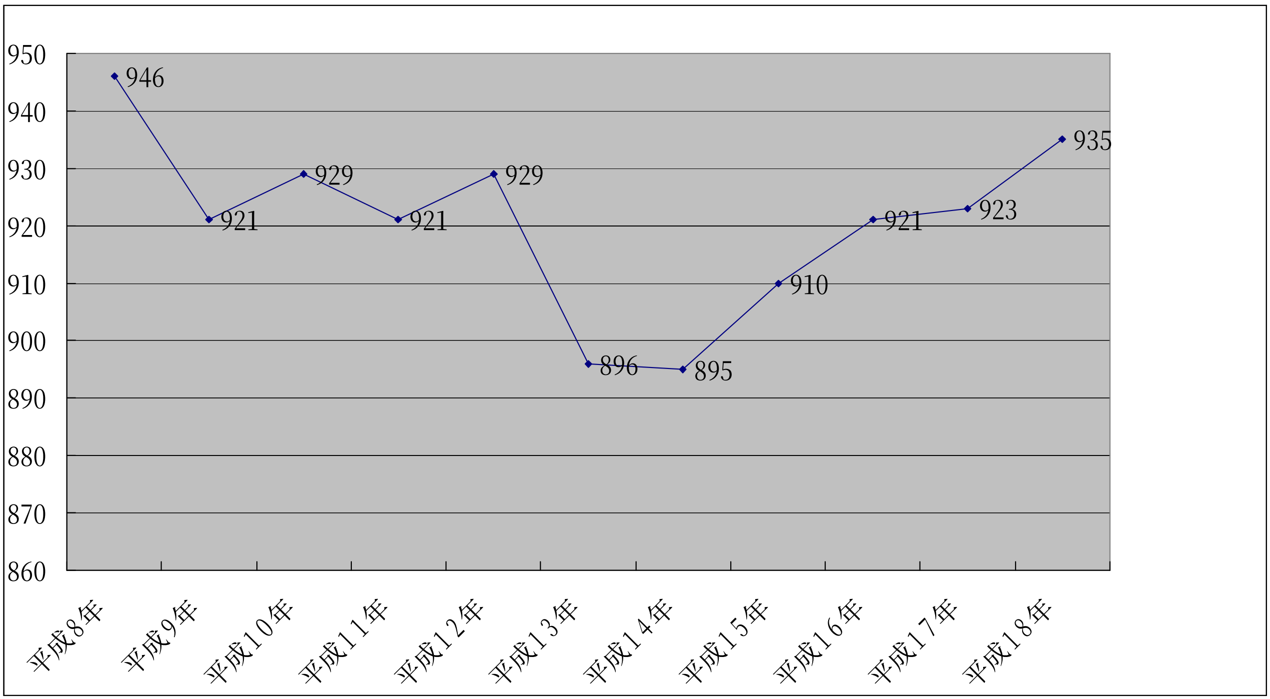
「消防団員確保推進委員」は、各分団役員とともに各地域で消防団に入団してくれそうな方のお宅を訪問し、消防団の現状や地域の実情、消防団活動の意義等の説明を行い、入団促進に力を注いでいる。

**特記事項**

３　効　果

この事業実施以前は、消防団員数が減少傾向にあったが、「消防団員確保推進委員」が積極的に勧誘活動を行った結果、実員数が着実に伸びてきており、条例定数に対する充足率も年々増加傾向にある（資料２）。

## 資料１　君津市消防団員数の推移




注）各年とも４月１日現在の数

## 資料２　君津市消防団の定員充足率

条例定数　９９８人

| 年度 | 充足率 |
|---|---|
| 平成　８年 | ９４．８％ |
| 平成　９年 | ９２．３％ |
| 平成１０年 | ９３．１％ |
| 平成１１年 | ９２．３％ |
| 平成１２年 | ９２．１％ |
| 平成１３年 | ８９．８％ |
| 平成１４年 | ８９．７％ |
| 平成１５年 | ９１．２％ |
| 平成１６年 | ９２．３％ |
| 平成１７年 | ９２．５％ |
| 平成１８年 | ９３．７％ |

注）各年とも４月１日現在の数

# 事業所の理解と協力で消防団活動

消防団概要

都道府県名　愛媛県
消防団名　今治市消防団
実員数　２，１１９名
消防団事務局　今治市消防本部　防災対策課
TEL　０８９８－３２－６６６６

活動内容

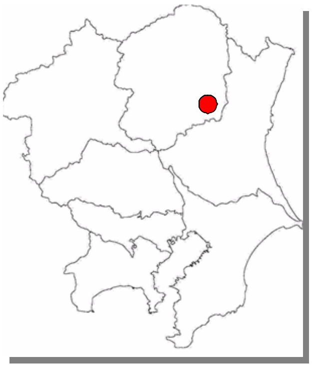
◎今治市消防団への協力事業所について

今治市内で消防団員を雇用している事業所のうち、JA 農協、造船所、電力関係等の私企業７社（１６８名就労）では、就業中の災害出動時に際し、職務を免除してもらう協力をいただいている。

また、今治市職員で消防団員に任命されている者も、約２３０名いるが、災害時には上司の了解のもと出動できるような態勢をとっている。

---

# 町役場に「部」を設置　団員の少なくなる昼間の災害に対応



消防団概要

都道府県名　栃木県
消防団名　茂木（もてぎ）町消防団
実員数　３８４名
消防団事務局　茂木町総務課
TEL　０２８５－６３－１１１１

活動内容

◎　経緯と活動

近年、会社員の消防団員が増加し、昼間出動する人員の不足が問題となっていた。そこで、以前、災害発生の際に交通整理等の協力をしていた役場内部の「防災協力隊」を消防団とすることにより、役場職員で一つの部を結成し、消火活動に当てられるようにした。町内全域の火事に出動 できる体制をとっている。

# 事業所団員　地域と密着

## 消防団概要

都道府県名　千葉県
消防団名　長生郡市（ちょうせいぐんし）広域市町村圏組合消防団
実員数　１，４９１名（うち女性団員０名）
消防団事務局　長生群市広域市町村圏組合消防本部
総務課　０４７５－２２－０１１９

## 活動内容

### １　ＪＡ職員が消防団員

長生農業協同組合（ＪＡ長生）には現在２３名の消防団員がおり、地域住民が安心して暮らせるように、また、有事の際には地域の生命、財産を守るため活躍している。

写真提供：長生郡市広域市町村圏組合消防団

### ２　消防団活動への配慮

消防団員の活動は就業規則に整備されており、その内容は特別休暇とし有給としている。各種の災害時の出動はもちろんのこと、消防学校等で行われる団員の訓練、消防操法大会、消防出初式等については特別休暇として認めている。
災害等の緊急出動の場合は、活動終了後に特別休暇届を提出するように指導している。

### ３　ＪＡ所属団員の構成

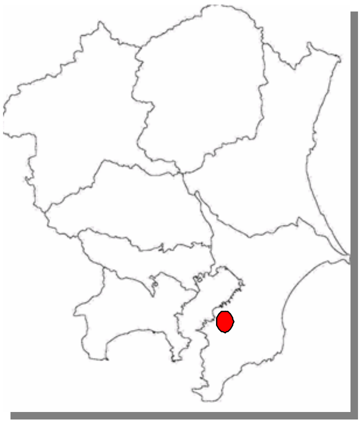
ＪＡ長生の機構の中には、金融部に金融渉外職員が４０名、共済部にライフアドバイザー（共済ＬＡ）職員が３０名、営農経済部に経済渉外職員が４名、合計で７４名の職員が渉外担当として組合員をはじめ地域利用者のお宅へ伺っており、訪問・巡回時に災害等に遭遇した時には関係機関へ速やかに連絡し対応する体制をとっている。

## 特記事項

### ４　ＪＡ職員の意気込み

ＪＡ長生では、従業員数２７８人のうち、２３人が消防団員として活動している。今後も地域に密着した環境を活かし、現在の体制を継続し社会に貢献していきたいと考えている。

# 事業所に消防団員確保協力依頼



**消防団概要**

都道府県名　千葉県
消防団名　袖ヶ浦市消防団
実員数　４２１名（うち女性団員１６名）
消防団事務局　袖ヶ浦市消防本部　総務課庶務班
℡　０４３８－６４－０１１９

**活動内容**

１　コンビナート事業所に団員確保の依頼

袖ヶ浦は、東京湾に面しており沿岸地域にはコンビナートや工場など多くの企業が集まる地域である。

近年、全国的に消防団員数の減少が深刻な問題となっているが、袖ヶ浦市消防団では工業地帯である立地条件を活かし、消防団員確保対策として、事業所団員確保を推進していくこととした。

２　方　策

方策としては、コンビナート事業所で行っている定例会に積極的に赴き、消防団の現状や課題、消防団の意義を会場で説明し各事業所に協力を求めている。

今後についても、コンビナート事業所の所長及び人事担当に消防団員の確保について依頼し、消防団組織の充実強化に努めていきたい。

**特記事項**

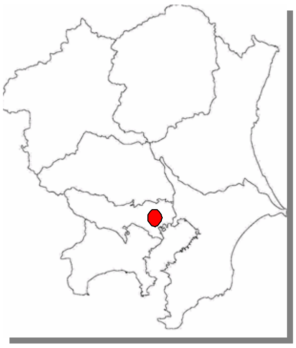
３　事業所の理解

コンビナート事業所定例会で積極的に消防団の意義等を説明した結果、各事業所において消防団に対する理解が得られたので、今後も定期的に説明会を開き、消防団員の確保に努めていきたい。

# オフィス街における消防団運営

消防団概要

都道府県名　東京都
消防団名　京橋消防団
実員数　１３２名（うち女性団員１２名）
消防団事務局　京橋消防団本部（京橋消防署内）
TEL　０３－３５６４－０１１９



活動内容

１　オフィス街における消防団運営

京橋消防団は、八丁堀や築地などの江戸城下の伝統を引き継ぐ街を管轄している。銀座はオフィス街であり、そこに暮らす住民が少なくなっている中で、団員の構成は８３％が勤務地団員（※）であり、居住地団員と協力しあって、街の安全・安心を確保するために日夜活動している。

２　京橋消防団の活躍

銀座では、街をあげて毎年夏に銀座震災訓練を実施している。今年は２５周年を迎えるが、第３分団は、その訓練の立ち上げから今日まで中心となって活動しており、地元から大きな信頼を得ている。また、お祭りの警戒や事務所での救命講習など、日常の活動も精力的に行っている。

３　勤務地団員がいなくなる夜の対応

勤務地団員がいなくなる夜間などは、隣接分団とも応援体制をとっており、京橋消防団が一体となって地域の安全を確保している。

**※勤務地団員**

**居住地は京橋以外の地域であるが、銀座のオフィスやデパート、ホテル等に勤める方々が消防団員になり、自らが働く地域の安心・安全を守っている。**

特記事項

４　事業所経営者の反応

勤務地団員として、各事業所から入団している団員は、自己事業所の救命講習等では主体となって指導にあたっている。

各事業所の経営者は、消防団員が事業所に勤務していることが防災や様々な場面で大きなメリットがあるとの認識を持っている。